

第2学年3組 生活科（食育）学習指導案

平成23年11月18日（金）第3校時

授業者 教諭 (T1)

栄養教諭 (T2)

1 単元名 やさいをそだてよう

2 単元の目標

- ・身近な植物の栽培に関心を持ち、愛着をもって継続的に世話をしようとする。
(関心・意欲・態度)
- ・自分で調べたり人に聞いたりしながら世話の仕方を工夫したり、植物の変化や成長の様子やその喜びなどを振り返ったりして、それを素直に表現することができる。(思考・表現)
- ・植物の変化や成長の様子や、植物が生命を持っていること、自分が上手に世話をできるようになったことなどに気付くことができる。(気付き)

3 単元について

野菜の栽培は、水やりや肥料やり、草むしりなどといった長期間にわたる継続した取り組みとなる。こうした継続的な取り組みは、自分の野菜と深くかかわることになり、愛着をもったり生命の尊さを感じたりすることにつながる。

本校では、生活科の学習で、毎年、一人一鉢の夏野菜の栽培と、学校園での「凜々子」（加熱用トマト）の栽培、さらに、学校の畑での冬野菜（大根）の栽培というように、1年を通して身近な野菜を育て収穫する活動を設定している。

(1) 「ぼく、わたしのやさい」作り

夏野菜の栽培は、果菜類を中心に扱っている。実を食べる野菜は、芽が出る、葉が大きくなり数が増えるといった変化に加え、花が咲く、実がなるといった成長の様子を自分の目で確かめることができるからである。また、年度当初に種をまいたり苗を植えたりすることで、夏休み前には初収穫が見込める物が多いこと、調理が簡単でバラエティに富んだ食べ方ができること、世話が比較的容易で児童に栽培の満足感や収穫の喜び、達成感を十分に味わわせることが可能であることも大きな理由である。身近で普段食べ慣れている野菜が多く、児童の「自分で育てて食べてみたい」という意欲を引き出すことができると期待される。

今年度は、児童の希望する野菜の中から、ミニトマト、ピーマン、なす、オクラ、枝豆の5種類を育てることにした。一人一鉢の野菜栽培では、「ぼくの野菜」「わたしの野菜」という愛着をもって、大切に世話をする児童の姿が見られるであろう。

(2) 「みんなのやさい」作り

1年生の時にあさがおを育てた個人用の植木鉢で育てることができる野菜は限られる。みんなの畑で、みんなの力を合わせて野菜を育て、みんなで収穫を喜び合える活動もぜひ取り入れたいと考えた。そこで、今年度も、学校園の一面で学年の野菜として凜々子の栽培にも挑戦することにした。凜々子は加熱調理に適した種類のトマトで、カゴメから苗の提供を受け、本単元での学習活動の一つとして毎年栽培しているものである。

また、夏休み明けからは、ジャガイモの栽培を終えた学校の畑が空くので、そこで冬野菜の大根を育てることも継続して行っている。夏野菜の栽培では、収穫時期を夏休み前に調整する必要性から、ほとんどの野菜は苗を植えることから活動を始めるのに対して、冬野菜は種まきから収穫まですべての体験をすることができる物が多い。特に大根は、小さな種から短期間で芽が出て、小さな苗から大きく立派な実（根）が育つ、ダイナミックな成長や変化の様子を間近に観察できる野菜である。おでんや煮物、みそ汁など、様々な料理に身近に使われ、収穫後、おでんパーティ等、みんなで楽しむ活動も設定しやすい。

大根は、芽が出た後はあまり難しい世話がいらず、2年生にも育てやすい野菜であるが、

今年度は、「畑の名人先生」として地域の方をゲストティーチャーに招き、種まきから収穫まで成長に合わせた世話の仕方を教えてもらいながら、大根を大切に育てることにした。

(3) 「学校給食畑設置事業」への参加

今年度は、栄養教諭からの提案で、食育と本単元の学習の一環として、学校給食畑設置事業に参加することにした。この事業は、学校給食で使われる食材(野菜)を児童の手で育てるというものである。学校の近くには適当な畑が見つからなかったため、白方町と久喜津町で畑を借りて取り組むことになった。また、前述の大根の栽培は、この事業の一環としても扱うこととした。

この活動を通して、サツマイモとブロッコリーの苗植え、収穫を体験し、野菜によって植え方や成長の様子に違いがあることに気付いたり、学校給食で自分たちがおいしく食べる喜び、みんなに楽しく食べてもらう喜びを味わったりすることが期待できる。

(4) 野菜のことを伝える活動

学校給食畑設置事業の活動の一つとして、11月5日の市主催「食育フェスティバル」に参加することになった。このことをきっかけとして、春からの野菜作りの活動の中で、体験したこと、世話の仕方や成長の様子など学習したことや気付いたこと、見つけたこと、分かったこと、その時々のお気持ちや思いなどを振り返り、まとめ、発表する活動を設定した。今回の学習指導要領の改訂でも、伝え合い交流する活動の一層の充実が示されている。これまで行ってきた、活動ごとの振り返りやその交流といった活動に加え、単元の終わりに、学習全体を振り返り、野菜ごとのミニ劇や歌と踊りなど、思い思いの方法で表現し、発表する場をもつことで、本単元の学習のまとめとする。

4 児童について(男子14名、女子17名、計31名)

明るく、にぎやかな学級である。1年生の時から持ち上がりの学級であり、自分の思いや考えをおくくがらず素直に表現できる児童が多い。食に関しても関心や意欲が高く、入学当初から、給食では残食が出ることがない。

(1) アンケートの結果より

2学期になって、次のようなアンケートを実施した。(10月25日、31名)

①生活科のべん強は好きですか。

○好き(31人) ○きらい(0人) ○どちらでもない(0人)

②生活科の中でどんなべん強が好きですか。好きなわけも書きましょう。(複数回答)

○たんけんをすること(30人)

○虫や生きものを見つけたりかたりすること(23人)

○花ややさいをそだてること(26人) ・きれいな花がさくのがたのしみ。

・水やりがたのしい。

・やさいは、みがなったらたべられるから。

・家でもできるから。

○春・夏・秋・冬のきせつを見つけたりあそんだりすること(23人)

○おもちゃをつくってあそぶこと(31人)

○小さい子(ほいく園・ようち園さんや1年生)をむかえてあそぶこと(22人)

③やさいは好きですか。

○好き(31人) ○きらい(0人) ○どちらでもない(0人)

④どんなやさいが好きですか。3つまで書きましょう。

○トマト(15人) ○キュウリ(13人) ○トウモロコシ(8人)

○ピーマン(8人) ○なす(7人)

等

⑤どんなやさいがきらいですか。3つまで書きましょう。

○ゴーヤ(8人) ○なす(7人) ○トマト(4人)
○きらいなやさいはない(10人) 等

⑥今までに、じぶんで、または家の人とそだてたことのあるやさいがあったら書きましよう。(複数回答)

○トマト・ミニトマト(22人) ○サツマイモ(15人) ○カボチャ(6人)
○ピーマン(2人) ○なす(2人) ○キュウリ(1人) ○パセリ(1人)

⑦2年生でやさいのべん強をして、すきになったりたべられるようになったりしたやさいがあったら書きましよう。(複数回答)

○なす(6人) ○ピーマン(3人) ○トマト(2人)

アンケートの結果から、生活科の学習は、全員が好きであり、その中でも、「花や野菜を育てること」は、人気のある活動の一つである。

全員が「野菜は好き」と答えており、「嫌いな野菜はない」という児童も多い。個々の野菜についてみると、好きな野菜として多く挙げられたのは、すべて果菜類である。夏野菜の収穫が終わった時期で、自分が育てた野菜を挙げる児童も多かった。意外だったのは、ピーマンが嫌いだと答えた児童は2名しかおらず、逆に好きな野菜としてピーマンを挙げる児童が8名もいたことである。それぞれの野菜を好きと答えた児童の中には、前は好きではなかったけれど、本単元の学習を通しておいしく思えるようになった、食べられるようになったという児童も少なくない。

今までに野菜を育てた経験については、家では育てたことがなくても、入学前に幼稚園や保育園で育てた経験のある児童も多かった。トマトについては、春に凧々子の苗を希望者に配ったので、学校での学習と並行して、家でも育てていた児童が多くいた。本単元の学習が家庭での生活にもつながっていることがうかがえる。

このように、野菜を食べること、育てることに高い意欲と関心をもって取り組んでいる様子が、アンケートの結果からも分かる。葉物野菜や根菜が多い冬野菜は、今回のアンケートでは出てこなかったが、サツマイモやブロッコリー、大根の収穫が続く2学期の学習を通して、十分興味や関心が高まることが予想される。

(2) これまでの学習の様子より

2年生になって野菜を育てることを知らせた時から、近くの畑に今植えられているのは何の野菜か、今植えて夏頃収穫できる野菜にはどんなものがあるかなど、野菜ごとの育て方や世話の仕方などを、図書室の本で調べたり家の人に聞いたりして、とても喜んで活動を始めた。育てる野菜を決める時には、「その野菜が好きだから」という理由で野菜を選ぶ児童もいたが、「今は嫌いだけど、自分で育てて食べられるようになりたい」「○○を好きになれるように」という理由で選んだ児童も少なくなかった。

どの児童も、毎日の水やりや支柱立て、わき芽取り、草むしりなどの世話に意欲をもって取り組んできている。活動のたびに、成長の様子や世話の仕方について、話し合ったり「大きくなったよ!」という記録カードに絵と言葉でかいたりすることになっている。細かい部分をよく見たり、小さな変化に気付いたり、友達の野菜と比べ合っ一つ一つの共通点や違いを見つかったりと、植物の成長の様子を「不思議だな」「おもしろいな」と実感しながら、収穫への期待が高まっていくようである。

夏休み前には、オクラを選んだ児童以外は全員初収穫を迎えることができた。育てた野菜が一人一人違い、収穫の時期にもばらつきがあることから、みんなで収穫を喜び合い、調理して食べるといった活動はできなかった。そこで、初収穫の際には、収穫した野菜を手を持ち、日付けを入れて記念写真を撮った後、家に持って帰るようにした。家族と一緒に収穫を喜び、楽しくおいしく食べたという報告がいくつも届いた。夏休み中も世話を続け、たくさんの収穫があったことや、その野菜で、家の人と料理に挑戦したこと等、活動の継続や広がりが、児童の話や夏休みの課題(記録カード、絵日記等)からうかがえる。

夏休みが終わり、大根の種まき(9月1日)、ブロッコリーの苗植え(9月2日)、サツ

マイモの収穫（10月11日）、ブロッコリーの収穫（10月31日）、大根の収穫（11月）と活動が続いている。これらは、特に、ゲストティーチャーから教えてもらったり手伝ってもらったりすることが多い。活動の楽しさや、新しいことができた、分かったという満足感と共に、その都度お礼のお手紙を書くことによって、感謝の気持ちをもって一つ一つの活動に取り組み、振り返りができるように配慮している。

育てた野菜についての発表では、栄養教諭による食育の授業「夏野菜のパワーを知ろう」（7月11日）で学習したことから、「もりもりにここ野さいパワー」の歌（替え歌）を作り、振り付けを考えたり、これまでの学習活動の場面ごとにミニ劇をしてセリフや動作を工夫したり、発表に必要な物を作ったりする活動をしてきた。11月の「食育フェスティバル」が一つの発表の機会であるが、授業日ではなく自由参加である。発表に参加しない児童も、歌と踊りに加わったり、作り物を作るなどの形で活動に加わり、みんなで一つのものを作りあげる楽しさや達成感を味わった。この後、「フェスティバルをしよう」の単元の学習の中で、今回の学習を生かして全員で発表をする機会をもちたいと考えている。

5 指導について

(1) 研究テーマとのかかわり

本校の研究テーマは、「自ら学び、つながりながら高め合う子どもの育成」である。

2年生という発達段階から、「自ら学ぶ」ということを、「分かるようになりたい」「できるようにになりたい」という願いをもち、「ぼくもやってみよう」「もっとやりたい」という思いをふくらませて、自分で学習や活動に取り組む子どもの姿をとらえる。本単元の学習においては、学校や家の近くの畑の様子や野菜の本を見たりして、「野菜を上手に育ててみたい」という願いをもち、昨年度の2年生の活動を思い出して、「わたしたちもあんなふうに〇〇を作って食べたい」と思いをふくらませたりすることで、野菜を継続して世話する意欲が生まれるであろう。日々大きくなっていく野菜の様子を観察することが、収穫の日が近づいてくることに期待をもって、次の学習活動に取り組んでいく原動力になるのではないかと考える。

また、「つながり」という面からは、次のような要素が考えられる。

①物（教材）とのつながり

自分が育てる野菜との出会いを大切にしたい。「今年はこれを育てますよ」と教師が与えるのではなく、自分が見たり聞いたりして調べ、「野菜を育てながらこんなことをしてみよう」「野菜ができたらかうやって食べよう」といった見通しや願いをもって、一人一人が納得して自分の野菜を選んでほしいと考えた。その自分の願いや見通しを楽しみにしながら自分の野菜を育てていく中で、自分の野菜に愛着をもち、意欲をもって世話を続けたり、成長や変化の様子に興味をもって多くのことに気付いたりしてほしいと願っている。また、上手に世話をすることができた自分のよさに気が付くことにも期待したい。

②人（友達、地域等の名人先生）とのつながり

自分の野菜を育てることと共に、自分たちの野菜、みんなの野菜を育てる体験をぜひさせたいと考えた。広い畑で、友達と協力し合って水やりや間引き、雑草取りなどの世話をしながら収穫の日を楽しみに待つことは、活動への意欲を持続させるのに効果的であると考える。また、世話をしたり観察したりして気付いたことを絵や言葉でかいたり発表し合ったりして、交流・共有することは、自然の不思議さやおもしろさ、すばらしさを感じ、科学的な見方や考え方の基礎を養うことにもつながっていくであろう。

また、学校給食畑設置事業に参加することで、自分たちの育てた野菜を学校の他学年の人や先生方にも給食で食べてもらえるという喜びも味わわせたい。

さらに、それぞれの野菜の特徴をよく知っている地域の方や、保護者の方、農家の方やJA等の専門家など、様々な人材をゲストティーチャーとして招き、児童の学習をサポートしていただく。苗植え、種まき、芽かき、間引き、追肥、下葉取り、収穫、調理等、様々な世話の仕方や観察するときの目のつけどころなどを教えていただいたり、活動の手助けをしていただいたりして、十分な満足感、達成感の得られる有意義な学習活動を保証したい。また、自分たちの学習がたくさんの人々に支えられていることにも気付き、感謝す

る気持ちを育てたい。

③他教科とのつながり

国語の「かんさつ名人になろう」の学習では、苗の様子を五感を使って観察し、表現することを学習した。図工の学習でも、自分の野菜の苗の様子を絵に描いて、作品を写生大会に出品した。生活科の授業だけではなく、他教科の学習の中で、観察することについていろいろな角度や視点から学習することは、たいへん有意義である。

本単元の学習においても、観察の機会を経るごとに、「茎が伸びた、太くなった」「葉が大きくなり、多くなった」「新しい葉っぱの赤ちゃんがここから出てくる」「葉っぱに筋があって、模様になっている」「つぼみができた」「花が咲いた」「花の枯れた後がふくらんできて実になってきた」「〇〇のおいがする」「さわったらざらざらしている」「葉の表と裏で色が違う」等、様々な気づきが広がり、深まっていった。

また、本校では、個人研究というスタイルで研究を進めている。今回の授業者である二人の研究テーマとのかかわりを次に述べる。

①学級担任 (T1)の研究テーマとのかかわり

今年度の個人研究テーマは、「自分のこと、家族や友達のことを大好きになり、自己肯定感を高める学級づくり」である。具体的には、パーソナルポートフォリオの取り組みを通して、自己肯定感を高め、同じように友達の一人一人も大切な一人であると気付かせたいと思っている。自分を認め、他者を認め、受け入れることで温かな学級風土を育てたいと願って、取り組んでいる。生活科の学習でかきためた記録カード「見つけたよ!」や「大きくなったよ!」等も、基本的にはこのポートフォリオの「SUNSUNファイル」に入れて整理して残している。このファイルを通して学習の足跡を振り返り、楽しかったことやがんばったこと、新しく知ったこと、できるようになったことなどに気づき、自分のことを肯定的にとらえ、認め、自分を好きになるための材料の一つとして活用していきたい。

②栄養教諭 (T2)の研究テーマとのかかわり

今年度の個人研究テーマは、「野菜を育て食べる活動を通して生きる力をつける」である。2年生では、野菜の栽培の仕方を調べたり農家の人に教えてもらったりして世話をする中で、成長の様子や植物にも生命があることなどに気づき、愛着をもって継続的に育てようとする気持ちを育てたい。また、自分たちで野菜を育て収穫して調理して食べることにより、進んで野菜を食べようとする児童を育てていきたい。

(2) 食育の観点から

本校では、栄養教諭の協力のもと、充実した食育に取り組んできている。2年生では、本単元「やさいをそだてよう」の学習とも関連して、「食べ物の働きを知ろう」(6月)、「夏野菜のパワーを知ろう」(7月)、「冬野菜のパワーを知ろう」(12月)と3回の食育の授業を設定している。夏野菜や大根等、野菜の持っている栄養やそれらが体の中でどんな働きをするか、逆に食べないとどのような困ったことが起きるか、おいしく食べるにはどんな料理があるかなど、楽しくてためになる授業である。今年度は、12月の冬野菜についての授業を「大根の秘密を知ろう」として、生活科の学習の中に組み込んで行うことにした。

本単元では、食育の観点から次のようなめあてをもって、学習を進めていきたい。

○苗植え、種まき、水やり、草取り等の世話をし野菜を育てることにより、食べ物に興味や関心を持ち、食べ物には生命があることが分かる。【食事の重要性】

○自分で育て、調理して食べることにより、好き嫌いせずに食べようとする。【心身の健康】

○野菜を育ててくれた農家の人に感謝する。【感謝の心】

学校園の凜々子は、収穫時期が夏休み中になるため、冷凍して保存し、夏休みが終わってからトマトソースを作る。それを使って、ピザトーストを作って食べるという活動を設定した。ここでは、なすやピーマンといった苦手な子の多い野菜を使う。児童は、これらの夏野菜には様々な優れた働きがあることを、7月の食育の授業で学習している。また、自分たちも野菜を育てたという愛着の気持ちや、ピザトーストという食べやすい調理法を選ぶことによって、それらの野菜が好きではない児童も食べることができるのではないかと期待する。それまで苦手だった野菜を食べることができたという経験は、自信や、好き嫌いせずに食べ

ようとする意欲につながり、今後の食生活にもよい影響を与えるものと思われる。

(3) 本時について

今年度の大根の栽培は、学校給食畑設置事業の一つとしても行っている。収穫した大根の一部は、学校給食に使われ、学校のみinnでおいしくいただいた。

本時では、収穫の時期を迎え、給食にも度々登場している大根について、種まきから収穫までを振り返ると同時に、大根にはいろいろな種類があることや、大きく育った根の部分だけでなく、葉にも豊富な栄養があり、体によい様々な働きがあること、部分によっていろいろな調理法があること、保存食としても昔から工夫して食べられてきたことなど、大根について、食育的な観点からの学習をする。こんなにすごい大根のパワーを知ること、収穫した大根を給食以外にももっと食べたいという気持ちを引き出したい。大根の種まきをしたときから、「おでんにして食べたい」という声が上がっていたことを思い出し、「おでんパーティをしよう」と呼びかける。大根はどのようにしておでんに入れるのか（切り方や下ごしらえなど）、大根以外のおでんの材料にはどんな物があるのか、おでんはどのように作るのかなど、おでんについて調べようとする意欲につなげたい。

また、大根を育てるにあたって、たくさんの方を教えてくださいお世話をしてくださった名人先生や、いつも食べ物のことについてたくさんの方の新しいことを教えてください栄養教諭の先生にも食べていただいて、感謝の気持ちを届けたいという意欲を引き出したい。

6 指導計画

(1) 野菜作り栽培暦

| 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|---|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">夏 野 菜</div> 苗植え 支柱立て 芽かき 初収穫→ ピザトースト作り (5/19) (5月下旬) (7/8) (9/22) | | | | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">サ ツ マ イ モ</div> 苗植え (つる返し) 収穫 (6/20) (10/11) | | | | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">ブロッコリー</div> 苗植え 収穫 (9/2) (10/31) | | | | | | | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 60%;">大 根</div> 種まき 間引き 初収穫→ おでん (9/1) (9/15) (11/7) パーティ | | | | | | | |

(2) 指導計画 (26時間配当)

| 学 習 内 容 | 時 間 | ね ら い | 関 | 思 | 気 | 評 価 規 準 |
|----------------|-----|--|---|---|---|---|
| なつやさいを うえよう | 2 | 野菜作りに関心を持ち、野菜について調べたり話し合ったりして、育てる野菜を決め、適切に苗を植えたり種をまいたりして、それらの成長への期待や思いをもつことができる。 | ◎ | ○ | ○ | (関)野菜を収穫することに関心を持ち、収穫への期待や思いをもちながら植物を育てようとしている。 (思)栽培する時期や場所を考えて、育てたい野菜を選んでいる。 (気)自分の育てる野菜の種のまき方や苗の植え方について分かっている。 |
| やさいのせわを しよう | 3 | 自分で植えた野菜の変化や成長の様子に関心を持ち、継続してかわるこ | ○ | ◎ | ◎ | (関)植物の変化や成長の様子に関心を持ち、進んで世話をしようとしている。 |

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|---|--|
| | | とを通して、それらに愛着をもち、植物の状態に合わせて、適切な世話をすることができる。 | | | | (思)植物の変化や成長について考え、状態に合わせて適切な世話をし、それを記録カードなどにかいている。 (気)植物が変化や成長をしていくことやその様子、植物にも生命があること、育てている植物の種類や状態に合わせて世話の仕方も変わること気付いている。 |
| サツマイモを そだてよう (苗植え、収穫) | 4 | サツマイモについて知り、やり方を教えてもらいながらサツマイモの苗を植えたり収穫したりすることができる。 | ◎ | ○ | ○ | (関)収穫に期待しながら、進んでサツマイモの苗を植えたり、成長を喜び、みんなと一緒に収穫したりしようとしている。 (思)サツマイモの苗植えや収穫の様子、教えたり手伝ったりしてくださった方への感謝の気持ちを記録カードやお手紙に書くことができる。 (気)サツマイモの苗の形や植え方、葉の形やつるの様子、いものつき方、世話の仕方、収穫の仕方などについて分かっている。 |
| なつやさいを しゅうかくしよう | 2 | 自分が育てた野菜の収穫を喜びと共に、その思いやこれまでの世話の様子などを新聞にまとめることができる。 | ○ | ◎ | ○ | (関)自分が育てた植物の成長を喜びながら、野菜を収穫したりピザトーストを作ったりしようとしている。 (思)記録カードなどを見ながら、植物の成長や変化の過程とこれまでに自分がしてきた世話の様子を振り返り、友達や家の人に伝えている。 (気)植物の変化や成長の様子に気付くと共に、上手に世話ができるようになった自分自身の成長に気付いている。 |
| 大こんのたねを まこう | 1 | 冬野菜作りに関心をもち、適切に種をまいて、その成長への期待や思いをもつことができる。 | ◎ | ○ | ○ | (関)野菜を収穫することに関心をもち、収穫への期待や思いをもちながら植物を育てようとしている。 (思)収穫への期待の気持ちや種の様子や種まきの仕方、名人先生に教えてもらったことなどを記録カードにかくことができる。 (気)みんなで育てる野菜(大根)の種のまき方について名人先生に教えてもらいながら、 |

| | | | | | | |
|-------------------------------|----------------------------|--|---|---|----------------------|--|
| | | | | | 種まきや世話の仕方について分かっている。 | |
| ブロッコリーを そだてよう (苗植え, 収穫) | 4 | やり方を教えてもらいながらブロッコリーの苗を植えたり収穫したりすることができる。 | ◎ | ○ | ○ | (関) 収穫に期待しながら, 進んでブロッコリーの苗を植えたり, 成長を喜び, みんなと一緒に収穫したりしようとしている。 (思) ブロッコリーの苗植えや収穫の様子, 教えたり手伝ったりしてくださった方への感謝の気持ちを記録カードやお手紙に書くことができる。 (気) ブロッコリーの苗の形や植え方, 成長した株の様子や実のつき方, 収穫の仕方について分かっている。 |
| 大こんのせわを しよう | 1 | みんなで植えた野菜(大根)の変化や成長の様子に関心を持ち, 継続してかかわることを通して, 愛着を持ち, 植物の状態に合わせて, 適切な世話をすることができる。 | ○ | ◎ | ◎ | (関) 植物の変化や成長の様子に関心を持ち, 進んで世話をしようとしている。 (思) 植物の変化や成長について考え, 状態に合わせて適切な世話をし, それを記録カードなどにかいている。 (気) 植物が変化や成長をしていくことやその様子, 植物にも生命があること, 育てている植物の種類や状態に合わせて世話の仕方も変わること気付いている。 |
| 大こんを しゅうかくしよう | 2 | みんなで育てた野菜の収穫を喜ぶと共に, その思いやこれまでの世話の様子などを振り返ることができる。 | ○ | ◎ | ○ | (関) 自分が育てた植物の成長を喜びながら, 野菜を収穫しようとしている。 (思) 記録カードなどを見ながら, 植物の成長や変化の過程とこれまでに自分がしてきた世話の様子を振り返り, 友達や家の人に伝えている。 (気) 植物の変化や成長の様子に気付くと共に, 上手に世話ができるようになった自分自身の成長に気付いている。 |
| おでんパーティを しよう | 4 本 時 1 / 4 | 大根の秘密やパワーについて知り, 収穫した大根でおでんを作ってパーティを開き, 収穫をみんなで喜び合うことができる。 | ◎ | ○ | ○ | (関) 収穫を喜び, 意欲をもっておでんについて調べたり, おでんパーティを楽しんだりしている。 (思) おでんについて本を見たり人に聞いたりして調べ, 友達同士で伝え合っている。 (気) 大根の秘密やパワー, おで |

| | | | | | | |
|------------------|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | んの作り方などについて分かっている。 |
| やさいのことを つたえよう | 3 | 記録カードなどでこれまでの活動を振り返り、友達と意見を交換しながら、ミニ劇や歌と踊りなどにまとめ、野菜を育てたことについて、友達同士と発表し合ったり、お世話になった人や家の人に伝えたりすることができる。 | ○ | ◎ | ○ | (関)学習してきたことについて伝えることに関心を持ち、進んで表現しようとしている。 (思)これまでの活動を振り返り、伝える相手のことを考えながら、伝えたいことを選んで表現し友達や家の人などに伝えている。 (気)育てた植物によって、変化や成長の様子が違うことに気付くと共に、自分が栽培してきたことが友達や家の人に伝わる楽しさに気付いている。 |

7 本時の目標

- ・大根のよさを知り、愛着をもって大根を食べようという気持ちや、そのためにおでんパーティーを開こうという意欲をもつことができる。

8 準備物

大根を育ててきたことを振り返る写真，大根のはたらきのカード，大根の料理のカード，ワークシート

9 本時の学習過程

| 学 習 活 動 | 支援（・）と評価（☆） |
|---|--|
| <p>○自分たちで種をまき，育ててきた大根が大きくなるまでを振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種はとっても小さかった。 ・大根を一本にまびいた。 ・虫がいたので取った。 ・ さんが下葉を取ったり，肥料や薬をまいたりしてくださった。 ・土の上に大根の白い顔が出てきた。 ・大きくなった大根をみんなでひっぱって抜いた。 | <p>(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9日の給食で，自分たちが育てた大根を和田小学校のみんなに食べてもらったことを思い出させる。 ・大根を育ててきた過程の写真を見せ，これまでにいろいろな世話をしてきたことを振り返らせる。 |
| <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大こんのひみつを知ろう</p> <p>○「大根」の意味やいろいろな種類の大根について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大根」は「大きな根っこ」のこと。 ・紫の大根や緑の大根は初めて見たよ。 ・桜島大根は，でっかいなあ。 ・守口大根は，すごく長いよ。 ・二十日大根は，食べたことがあるよ。 ・大根は，日本中でとてもたくさん作られている野菜なんだね。 | <p>(T2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大根について知らせる。 名前の由来 いろいろな種類の大根 紫・緑の大根 日本一大きな大根（桜島大根） 長い大根（守口大根） 小さな大根（二十日大根） 生産量・消費量共にたいへん多い野菜であること |

| | |
|---|--|
| <p>○大根のパワーについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根っこの部分を食べると、傷が早く治るんだって。 ・葉っぱも食べられるんだね。 ・風邪をひきにくくなるなんて知らなかったな。 ・肌がつるつるになることをお母さんに教えてあげたいな。 <p>○大根を使った料理を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おでん ・菜めし ・ふろふき大根 ・つけもの ・大根おろし など <p>○大根についての昔の人の生活の知恵を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくあん ・切り干し大根 など | <ul style="list-style-type: none"> ・大根の働きについて知らせる。 根の部分…傷の治りを早くする。 葉の部分…風邪をひきにくくする。 肌をきれいにしてくれる。 ・児童から出てきた料理が、それぞれ大根のどの部分を使うと、いかを知らせる。 ・葉の部分を使った料理が出ない場合は、9日の給食のことを思い出させる。 ・昔の人の知恵として、大根が様々な形で保存食としても食べられてきたことを知らせる。 ・諺「大根おろしに医者いらず」についても触れる。 |
| <p>○大根の秘密を知っての感想をワークシートに書いて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大根にあんいろいろな種類があるなんて知らなかった。 ・太くて大きい大根や細長い大根を見てびっくりしたよ。 ・大根はすごいパワーをもっているんだな。 ・大根の料理はいろいろあるんだな。 ・たくあんは大根だったんだと分かった。 ・大根は昔から、いろんな食べ方をしてきたんだね。 ・大根一つで医者いらずなんてすごいなあ。 ・大根の料理を食べたくなったよ。 <p>○育てた大根でこれからどんなことがしたいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おでんパーティを開こう。 ・おでんはどうやって作るのかな。 ・大根はどんなふうにして入れればいいのか。 ・おでんの材料は、大根の他に何を入れるんだろう。 ・おでんの作り方を調べなくちゃ。 ・お世話になった 先生や名人先生の さんにも食べてもらいたいな。 ・招待状を書くといいね。 | <p>(T1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大根について新しく知ったことやそれについての思いを発表させる。 ・大根をもっと食べたいという思いを引き出せるように声かけする。 <p>☆大根が体によいことが分かり、進んで食べようという意欲をもつことができたか。 (気、関・意・態…ワークシート, 発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの育てた大根を給食以外にも食べてみたいという気持ちを引き出せるように声かけをする。 ・そのためにどんなことをしたらよいかを考えさせ、次の活動に期待をもたせる。 <p>☆次の活動への意欲をもつことができたか。(関・意・態…発言)</p> |